

板橋区環境基本計画 2025 の進捗状況について

板橋区環境基本計画 2025（以下、「本計画」という。）における、令和 2 年度の進捗状況を取りまとめたので報告する。

1 本計画について

(1) 位置づけ

本計画は、板橋区基本構想や板橋区基本計画 2025 で示された施策を環境面から具体化するとともに、国や都の計画並びに、いたばしNo.1 実現プラン及び区の関連個別計画と相互に整合・連携を図っていくものである。

(2) 計画期間

本計画の期間は、板橋区基本計画 2025 の計画期間との整合を図り、平成 28(2016)年度から令和 7（2025）年度までの 10 年間としている。

(3) 指標

本計画では、基本目標に対する達成状況を評価する「環境指標」（成果指標）、環境施策の活動状況を把握する「活動指標」の 2 種類の指標を設定している。

2 令和 2 年度実績値に基づく進捗状況の点検・評価

令和 2 年度における環境指標、活動指標の進捗状況について点検・評価を行った。

環境指標については、目標値に対する進捗度を「順調」、「漸進」、「停滞」で評価し、活動指標については、目標値の設定が無いことから、基準年値（平成 26 年度）からの進捗を「進展」、「横ばい」、「後退」で評価した。

(1) 環境指標及び活動指標の評価結果

環境指標については、前年度と同様「順調」が 6 項目のまま現状維持で推移し、「停滞」は 6 項目から 7 項目に増える結果となった。総じて、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、前年度より数値が悪化したものが少なくなかった。また、活動指標については、「進展」は増減がなく「後退」が 5 項目増えている。

基本目標	環境指標（成果指標）				活動指標			
	順調	漸進	停滞	その他※	進展	横ばい	後退	その他※
1 脱炭素社会の実現	2	0	0	0	2	1	4	1
2 循環型社会の実現	0	2	0	0	2	4	2	2
3 自然環境と生物多様性の保全	2	0	1	1	1	4	6	0
4 快適で健康に暮らせる生活環境の実現	1	1	0	0	2	2	1	4
5 「環境力」の高い人材の育成	0	1	3	0	2	0	6	0
6 パートナーシップが支えるまちの実現	1	0	3	0	0	3	3	0
計	6	4	7	1	9	14	22	7

※：基準年値又は実績値のどちらかの数値が無く比較ができない項目や、数値の増減で良し悪しを評価することができない項目については、「その他」として集計した。

表 令和2年度における環境指標の実績と進捗状況

指標名	基準年値 平成26年度	めざす 方向性	目標値 令和7年度	実績値 令和2年度	(参考) ※7 達成率 達成度	進捗率	進捗度 ※8
基本目標1：脱炭素社会の実現							
区内エネルギー消費量 (熱量換算)	24,307 TJ※1	↘	22,901 TJ※2	21,298TJ※3	214.0% A A	100% 以上	順調
区内温室効果ガス排出量	231.4 万t-CO ₂ ※1	↘	220.1 万t-CO ₂ ※2	204.8 万t-CO ₂ ※3	235.4% A A	100% 以上	順調
基本目標2：循環型社会の実現							
区民一人当たりの一日の ごみ排出量	689 g※4	↘	598 g※5	658 g	34.1% C ⁺	34.1%	漸進
リサイクル率	21.5 %※4	↗	28.0 %※5	22.5 %	80.4% B	15.4%	漸進
基本目標3：自然環境と生物多様性の保全							
区全体の植生被覆率	18.3 %	↗	21 %	—※6	—※6	—	—
公園率	5.9 %	↗	6.1 %	5.9 %	96.7% A	0%	停滞
石神井川における生物化学的 酸素要求量 (BOD75%値)	0.7 mg/L	—	1.0 mg/L以下	0.9 mg/L	— A A	100% 以上	順調
白子川における生物化学的 酸素要求量 (BOD75%値)	3.8 mg/L	↘	2.0 mg/L以下	2.7 mg/L	61.1% C ⁺	61.1%	順調
基本目標4：快適で健康に暮らせる生活環境の実現							
微小粒子状物質(PM2.5)の基 準値Bレベル以上の日数	25 日	↘	23 日	3 日	1,100.0% A A	100% 以上	順調
騒音に係る環境基準の達成率	79 %	↗	85 %	81 %	95.3% A	33.3%	漸進
基本目標5：「環境力」の高い人材の育成							
人材育成に関わる環境講座 参加者数	199 人	↗	400 人	185 人	46.3% C	0%未満	停滞
外部人材を活用した環境学 習実施校(園)の割合	76.1 %	↗	100 %	36.0 %	36.0% C	0%未満	停滞
環境教育プログラム利用校 (園)の割合	74.4 %	↗	100 %	69.4 %	69.4% C	0%未満	停滞
エコ生活(アクション9)の実 施状況	75.0 %	↗	100 %	84.3 %	84.3% B	37.2%	漸進
基本目標6：パートナーシップが支えるまちの実現							
全区民参加型環境保全キャ ンペーン参加者数	25,674 人	↗	31,500 人	0 人	0.0% C	0%未満	停滞
エコポリスセンター事業へ のボランティア等参加者数	990 人	↗	1,300 人	279 人	21.5% C	0%未満	停滞
環境登録団体数	27 団体	↗	37 団体	35 団体	94.6% A	80.0%	順調
環境学習講師派遣人数	363 人	↗	500 人	164 人	32.8% C	0%未満	停滞

※1：平成24年度 ※2：平成32年度（「板橋区地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の目標年度）

※3：平成30年度（オール東京62市区町村共同事業「特別区の温室効果ガス排出量」より）

※4：「板橋区一般廃棄物処理基本計画2025」の基準年値（平成27年度）

※5：「板橋区一般廃棄物処理基本計画2025」の目標値（令和7年度）

※6：植生被覆率は5年ごとの調査（参考 令和元年度実績は18.1%）

※7：目標値に対する実績値の達成状況。A A（達成率100%超）、A（達成率90%～100%）、B（達成率70%～90%未満）、C⁺（達成率70%未満でも基準年値を上回る）、C（達成率70%未満で基準年値より悪化）、めざす方向性が↘の場合は進捗率と同値とした

※8：計画最終年度の目標達成に向けた進捗状況。基準年値と比較して実績値がこのままのペースで推移した場合に、進捗率が100%以上になるものを「順調」、改善はしているものの100%に届かないものを「漸進」、0%以下になるものを「停滞」とした。令和2年度については、10か年計画の5年度

目（一部を除く）であるため、進捗率が50%以上になるものを「順調」とした。なお、基本目標2については、「板橋区一般廃棄物処理基本計画2025」の計画期間が平成30年度から始まる8年間であるため、進捗率は37.5%以上になるものを「順調」とした。）

3 基本目標ごとの進捗状況概要

基本目標1：脱炭素社会の実現

■ 進捗状況

区内エネルギー消費量及び区内温室効果ガス排出量は、共に「順調」に推移した。東日本大震災以降における節電の取り組みの定着等により、エネルギー消費量の減少傾向が続いているほか、再生可能エネルギーによる発電量の増加等により、電力の二酸化炭素排出係数が緩やかに低下し、温室効果ガス排出量の減少につながった。

□ 令和2年度の主な成果

令和2年度で事業終了となる住宅等の新エネルギー・省エネルギー機器の導入補助については、新型コロナウイルス感染症の影響により住宅設備等の消費が落ち込み、申請件数が伸び悩んだ。なお、令和3年度から事業の見直しを行い、「いたばし環境アクションポイント事業」を新たに創設し、区民や事業者に省エネルギーに対する取り組みを促進している。街灯の更新（LED灯の導入）については、令和2年度は3,320基を更新した。また、「板橋区地球温暖化対策実行計画（区域施策編）2025」の策定に続いて、令和3年度中には「（仮称）板橋区地球温暖化対策実行計画（事務事業編）2025」を策定する予定であり、更なる区役所の脱炭素化へ向けた取り組みを推進していく。

基本目標2：循環型社会の実現

■ 進捗状況

近年、区民一人当たりの日のごみ排出量は減少傾向にあったものの、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、家庭での巣ごもりや食品などの消費が増えた影響で前年度の排出量が増え「漸進」となった。またリサイクル率は、基準年値よりやや数値を改善し「漸進」となった。リサイクル率も同様に新型コロナウイルス感染症の影響により、家庭で過ごす時間が増え、分母となる家庭から排出されるごみが増えた一方で、インターネットショッピングなどの需要拡大が進み、配達後に出る梱包材の段ボールの排出量が増えるなど分子となる要因の数値が改善したためと考えられる。

□ 令和2年度の主な成果

事業系ごみの排出量（可燃持ち込みごみ）は計画期間中継続して基準年値を上回って推移してきたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、民間事業者などの活動が縮小し前年度に比べ10%程度減り初めて基準年値を下回った。高齢者・障がい者などに対する戸別収集件数については安定的に基準年値を上回って推移している。

◇ 進捗度が「漸進」の項目の要因・今後の方向性等

区民一人当たりの日のごみ排出量及びリサイクル率は、新型コロナウイルス感染症の影響により一時的なごみの増加が見受けられた。今後も推移を見守っていくとともに、令和3年度からは、いたばしNo.1実現プラン2025の計画事業である「プラスチックごみの再資源化の推進」をはじめ、プラスチック使用の抑制、食品ロスに対する啓発等についても取り組みを進め、ごみ排出量の削減、資源化量の増加を目指す。

基本目標3：自然環境と生物多様性の保全

■ 進捗状況

公園率は、農業園（赤塚植物園の増設）が完了したが前年度から数値に変化はなかった。生物化学的酸素要求量（BOD75%値）については、石神井川、白子川ともに「順調」に推移し、石神井川については目標値も下回ることができた。

□ 令和2年度の主な成果

令和2年度は、「板橋区緑化の推進に関する条例」に基づく緑化指導制度による緑化完了の届出が94件あり、高木植栽1,831本、中木植栽5,550本等の実績があった。また同制度により、地上部の緑化面積は14,109㎡、屋上の緑化面積は911㎡増加した。

◇ 進捗度が「停滞」の項目の要因・今後の方向性等

公園率については、本計画期間内に予定されていた（仮称）板橋区史跡公園の開園が令和11年度に延期となり当面数値の改善が困難な状況であるが、将来的な公園の拡張や整備に向けて、引き続き計画を進めていく。

基本目標4：快適で健康に暮らせる生活環境の実現

■ 進捗状況

微小粒子状物質(PM2.5)は、平成26年度以降、年間を通じた測定結果が得られ、基準値Bレベル以上の日数は前年に引き続き低値で「順調」に推移しており、令和2年度は3日のみとなった。理由としては、工場等のばい煙発生施設の規制や自動車排気ガス規制等が考えられる。騒音に係る環境基準の進捗率は目標には届いていないものの、近年の自動車性能の向上及び低騒音型の路面舗装の普及等が進み改善が見受けられる。

□ 令和2年度の主な成果

路上禁煙地区（8地区）内の定点におけるたばこのポイ捨て月平均本数については、基準年値を大きく下回って推移しており、新型コロナウイルス感染対策による外出自粛の影響も考えられるが、区内における一定の喫煙者のマナーの向上が見受けられる。

◇ 進捗度が「漸進」の項目の要因・今後の方向性等

騒音に係る環境基準の達成率については引き続き道路の騒音調査を行い、調査結果を道路管理者に情報提供し改善を促していく。

基本目標5：「環境力」の高い人材の育成

■ 進捗状況

人材育成に関わる環境講座参加者数など3つの項目で「停滞」となり、エコ生活（エコアクション9）の実施状況については前年度より僅かながら数値が改善し「漸進」の評価となった。

□ 令和2年度の主な成果

環境講座受講前後の知識・考え方の変化した受講者の割合については着実に上昇傾向で推移している。また、区から発信する環境情報の更新回数もTwitter等を積極的に活用しており基準年値を大きく上回った。

◇ 進捗度が「漸進」又は「停滞」の項目の要因・今後の方向性等

外部人材を活用した環境学習実施校（園）の割合については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため外部講師による学習活動を制限した学校・園が多く活用率が低下した。令和2年度からはエコポリスセンターの出前授業の一部がWEB対応になっていることから、今後はより活用してもらえるよう周知していく。

基本目標6：パートナーシップが支えるまちの実現

■ 進捗状況

環境登録団体数は「順調」に推移した。一方、全区民参加型環境保全キャンペーン参加者数等の指標については全て「停滞」の評価となった。

□ 令和2年度の主な成果

ボランティアなどの協力を受け入れたエコポリスセンター事業数については、新型コロナウイルス感染症の影響で参加者数が減少したが、今後もボランティアの活動機会を提供するとともに、「エコみらい塾」等の指導者養成講座でボランティアの人材育成・確保を図っていく。

◇ 進捗度が「停滞」の項目の要因・今後の方向性等

全区民参加型環境保全キャンペーン参加者数については、新型コロナウイルス感染症の影響で全てのキャンペーンが中止となった。今後はキャンペーンのあり方を見直すとともに、「打ち水キャンペーン」については今後も集団での実施は行わず、個人や家族での実施を呼びかける形で継続していく。

■ 板橋区環境基本計画 2025 活動指標一覧（令和 2 年度実績）

令和 2 年度における活動指標の実績と進捗状況は以下のとおりである。なお、「進捗度」については、基準年値に対して実績値が 5 % 以上増加（「めざす方向性」が下向き矢印の場合は減少）したものを「進展」、5 % 以上減少（同増加）したものを「後退」、増減が 5 % 未満のものを「横ばい」とした。

指標名	基準年値 平成 26 年度	めざす 方向性	実績値 令和元年度	実績値 令和 2 年度	進捗度
基本目標 1					
▶環境施策 1 - ①：区民・事業者における省エネ・再エネの推進					
区内の住宅用太陽光発電システム導入発電容量	4,611 kW	↗	6,043kW	6,153kW	進展
区公共施設における緑のカーテン実施施設数	180 施設	↗	167 施設	162 施設	後退
環境マネジメントシステム新規構築事業所数	14 事業所	↗	4 事業所	9 事業所	後退
新エネルギー・省エネルギー機器設置補助件数	347 件	↗	319 件	174 件	後退
▶環境施策 1 - ②：建物や交通などインフラの低炭素化の促進					
「板橋区建築物等における省エネルギー・環境配慮に関する指針」に基づく省エネ建築物受付件数	57 件	↗	48 件	42 件	後退
街灯の更新	— 基	↗	2,768 基	3,320 基	—
区役所で使用している自動車の低公害車率	74 %	↗	73 %	72 %	横ばい
自転車道整備延長距離（累計）	4,670m	↗	4,881m	5,028m	進展
基本目標 2					
▶環境施策 2 - ①：板橋かたつむり運動の推進					
ごみ減量に関する出前講座の実施回数	43 回	↗	43 回	0 回	後退
資源回収品目数	11 品目	↗	11 品目	11 品目	横ばい
リサイクル推進員研修会参加者数	433 人	↗	372 人	283 人	後退
小型家電の資源売却量 ^{※1}	544,570 kg	↗	541,152 kg	563,048 kg	横ばい
いたばしエコ・ショップ（ゴールド）認定数	— 事業所	↗	— ^{※2}	— ^{※2}	—
▶環境施策 2 - ②：適正で効率的なごみ収集・処理体制の構築・運用					
家庭ごみの排出量（可燃・不燃・粗大ごみ）	110,742 t	↘	108,331 t	110,536 t	横ばい
事業系ごみの排出量（可燃持ち込みごみ）	29,520 t	↘	30,911 t	27,544 t	進展
資源の回収量	13,869 t	—	13,238 t	14,421 t	—
高齢者・障がい者などに対する戸別収集件数	783 件	↗	853 件	914 件	進展
集団回収登録団体数	883 団体	↗	908 団体	901 団体	横ばい
基本目標 3					
▶環境施策 3 - ①：板橋らしい良好な緑や水環境の保全・創出					
緑化指導に基づく緑化箇所数	90 件	↗	62 件	94 件	横ばい
緑化指導に基づく緑化面積	59,617 m ²	↗	11,010 m ²	15,020 m ²	後退
地域がつくる公園制度導入公園数	27 公園	↗	28 公園	27 公園	横ばい
花づくり活動登録グループ数	83 グループ	↗	82 グループ	81 グループ	横ばい
保存樹木指定本数	1,842 本	↗	1,781 本	1,765 本	横ばい
雨水流出抑制量	4,119 m ³	↗	3,959 m ³ ^{※3}	3,379 m ³ ^{※4}	後退

※1：小型家電の資源売却については、金属価格の下落による逆有償（排出側が処理側に代金を支払うこと）が発生し、売却が困難な状態となっているため、基準年値・実績値ともに、「資源回収量」を掲載した。

※2：平成 30 年 3 月末にて事業終了 ※3：平成 30 年度実績値 ※4：令和元年度実績値

指標名		基準年値 平成 26 年度	めざす 方向性	実績値 令和元年度	実績値 令和 2 年度	進捗度
基本目標 3	▶環境施策 3-②：自然とのふれあい促進や自然の恵みの享受					
	グリーンフェスタ参加者数	8,073 人	↗	5,109 人	0 人	後退
	緑のガイドツアー参加者数	102 人	↗	106 人	45 人	後退
	熱帯環境植物館来館者数	103,925 人	↗	114,666 人	35,861 人	後退
	エコポリスセンター「環境観察員」登録者数	57 人	↗	59 人	64 人	進展
	区民農園応募者数	3,144 世帯	↗	2,498 世帯	2,691 世帯	後退
基本目標 4	▶環境施策 4-①：大気汚染や騒音などのない生活環境の保全					
	公害苦情件数	251 件	↘	233 件	242 件	横ばい
	公害相談件数	2,182 件	—	2,762 件	2,537 件	—
	公害関係法令に基づく改善指導件数	201 件	—	153 件	181 件	—
	「板橋区大気情報公開システム」アクセス件数	458,533 件	↗	237,311 件	310,081 件	後退
	環境調査に関する情報のツイッター発信数	25 件	↗	155 件	137 件	進展
	▶環境施策 4-②：潤いのある景観や美しい街並みの保全					
	景観形成重点地区指定数	4 地区	↗	4 地区	4 地区	横ばい
	「板橋区クリーン作戦」参加者数	18,721 人	—	19,583 人	0 人	—
	「板橋区クリーン作戦」におけるごみ回収量	6,600 袋	—	6,449 袋	0 袋	—
路上禁煙地区(8 地区)内の定点におけるたばこのポイ捨て月平均本数	1,300 本/月 ※5	↘	899 本/月	722 本/月	進展	
基本目標 5	▶環境施策 5-①：環境教育の推進、環境保全活動を担う人材の育成					
	環境講座・教室開催回数	677 回	↗	579 回	244 回	後退
	環境講座参加者数（人材育成に関わる講座を除く）	22,898 人	↗	20,316 人	5,753 人	後退
	環境学習講師派遣人数	363 人	↗	290 人	164 人	後退
	環境学習施設の入館者数	270,195 人	↗	315,947 人	162,971 人	後退
	環境講座受講前後の知識・考え方の変化	63 %※6	↗	77.1 %	88.1 %	進展
	▶環境施策 5-②：わかりやすい環境情報の発信					
	区から発信する環境情報の更新回数	356 件	↗	965 件	708 件	進展
環境イベント等開催回数	244 回	↗	199 回	60 回	後退	
環境イベント等参加者数	96,949 人	↗	44,877 人	5,974 人	後退	
基本目標 6	▶環境施策 6-①：環境保全活動への参加や協働を進める仕組みづくり					
	ボランティアなどの協力を受入れたエコポリスセンター事業数	183 件	↗	187 件	91 件	後退
	自主講座支援回数	2 回	↗	2 回	1 回	後退
	喫煙マナーアップ推進員人数	157 人	↗	93 人	100 人	後退
	集団回収登録団体数【再掲】	883 団体	↗	908 団体	901 団体	横ばい
	地域がつくる公園制度導入公園数【再掲】	27 公園	↗	28 公園	27 公園	横ばい
花づくり活動登録グループ数【再掲】	83 グループ	↗	82 グループ	81 グループ	横ばい	

※5：平成 27 年 4 月～平成 28 年 1 月までの 10 か月間の平均値 ※6：平成 28 年度実績値